

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)下京区油小路町ホテル新築工事	階数	地上10階地下1階
建設地	京都市下京区油小路通下泉/地下油小路町288,286,284,317-2	構造	S造
用途地域	商業地域, 防火地域	平均居住人員	400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2018年8月17日
敷地面積	1,186.02 m ²	作成者	株式会社東洋設計事務所 白井大輔
建築面積	852.72 m ²	確認日	2018年8月19日
延床面積	8,535.58 m ²	確認者	株式会社東洋設計事務所 白井大輔



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 91%
③上記+②以外の 91%
④上記+ 91%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.3

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地内にできる限りの補込を敷地内環境に配慮した。	
その他	特になし	
Q1 室内環境	内装材は全てF☆☆☆☆を使用	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理の配慮をした。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内には、緑地を設けるなど環境にも配慮した。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	太陽光パネルの設置。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	節水型トイレの使用。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	光害の抑制に努めた。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される